- 鉄筋記号の変更~梁リストの場合~
 - ・ 梁リストを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリを編集]ツールをクリックし、s梁リストのファミリ編集画面を 開きます。



② s梁リスト.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → s梁リスト断面図 を選択し、 右クリックして[編集]を選択します。



③ s梁リスト断面図.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 配列STP(中間割付) を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



 ④ 配列STP(中間割付).rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → SectionList_RebarMark を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



⑤ SectionList_RebarMark.rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールを クリックします。

ファイル	作成	挿入	表示	管理	アドイン	B.共通	B.建築	B.構造	B.設備	B.仮設	B.Ruts	修正	•			
			Ľ		A]		ß		**	\triangle	$\langle \langle \rangle$	Sć	Α	ABC	* **	+
修正	+		線	詳細 コンポーネント	詳細 グループ・	記号	マスキング 領域	塗り潰し 領域	平行寸法	角度寸法	半径	直径 弧長 寸法	文字	スペル チェック	検索/ 置換	-םאעב
選択 ▼	プロバ	71			詳細	8				すぎ	± ◄			文字	ы	コントロー

⑥ [ファミリタイプ]ダイアログで鉄筋記号を変更します。

ファミリ タイプ			×
冬前を入力(\/) 鉄路径	1	•\ •	n %5
	•		
検索パラメータ			Q
パラメータ	値	<u></u>	□ <u><u>v</u>! ^</u>
614			
十字線 (既定値)		= or(主筋径 = <mark>35 mm,</mark> 主筋径 = 38 mm)	
斜め下線 (既定値)		=or(主筋径 = 13 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径 = 41 mm)	
斜め上線 (既定値)		= or(主筋径 = 13 mm, 主筋径 = 16 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径 = 41 mm)	
外形線 (既定値)		=or(主筋径 = 16 mm, 主筋径 = 22 mm, 主筋径 = 25 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径 = 32 mm, 主	
外形塗り潰し(既定値)	\checkmark	=or(主筋径 = 10 mm, 主筋径 = 19 mm)	
中黒丸 (既定値)		= 主筋径 = 25 mm	
中丸 (既定値)		= or(主筋径 = 32 mm, 主筋径 = 38 mm, 主筋径 = 41 mm)	
寸法			
主筋径 (既定値)	10.0	=	
図面Dサイズ (既定値)	30.0	= D* 倍率	
中丸R(既定値)	7.5	= 図面Dサイズ / 4	
D2 (既定值)	15.0	= 図面Dサイズ / 2	
D (既定値)	30.0	⊨=if(主筋径 < 14 mm, <mark>30 mn</mark> , <mark>50 mn</mark>)	
その他			
倍率	1.000000	=	
識別情報			~
<		:	>
🧷 🎦 🎦 🕇E	∔ Ε ∦	↓ 全↑ ルックアップ テーブル	を管理(<u>G</u>)
ファミリタイプの管理方法につ	<u>ont</u>	OK	i用(<u>A</u>)

BooT.one



⑦ 修正した SectionList_RebarMark.rfa を 配列STP(中間割付).rfa にロードします。

ファイル	作成	挿入	表示	管理	アドイン	B.共通	B.建築	B.構造	B.設備	B.仮設	B.Ruts	修正	٢) •									
\square			1		[]		ß		***	\bigtriangleup	K.	S (1	Α	ABC	***	↓	IV.	\square		B	Ŷ	
修正	++ +		線	詳細 コンポーネント	詳細 ト グループ	12号	マスキング 領域	塗り潰し 領域	平行寸法	角度寸法	半径	直径 弧 寸	(長)法	文字	スペル チェック	検索/ 置換	コントロール	参照 線	参照面	セット	表示	プロジェクトに ロード	プロジェクトに ロードして閉じる
選択 ▼	プロバ	ティ			10	⊧紿田				43	法 🔻				文字	к	コントロール	基準	声面	作業	面	ファミリ	エディタ

⑧ 配列STP(中間割付).rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 巾止筋を選択し、 右クリックして[編集]を選択します。



⑨ ⑥で修正した SectionList_RebarMark.rfa を 巾止筋.rfa にロードします。

⑩ 巾止筋.rfa を 配列STP(中間割付).rfa にロードします。

※⑥で寸法を修正せず、レイヤのみを修正した場合は、⑪~⑮は省き、次は手順⑰に進んでください。

 ① 配列STP(中間割付).rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → STP1本調整用 を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



2 縦線(STP筋)の寸法ロックを解除してから、縦線を選択して寸法を修正します。寸法入力後にロックをかけます。
 ※こちらの寸法値は、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)を入力します。



③ STP1本調整用.rfa を 配列STP(中間割付).rfa にロードします。

④ 配列STP(中間割付).rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。ファミリタイプダイアログを開き、パラメータグループ[寸法]の6行目にある、[主筋ピッチ]の値を修正します。
 = (STP_W - 30mm * 2) / (最大主筋列数 - 1) と記載されているところの 30mm に
 ①で入力した、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)を入力します。

ファイル 作成 挿入 表示 fi	管理 アドイン B.共通 B.	建築 B.構造 B.設備	B.仮設 B.Ruts	修正 ● ▼		
	詳細 ポーネント グループ 「A」 一 一 一 一 一 一 一 一 一	スキング 塗り潰し 領域 平行寸法	▲ 角度寸法 半径 Ⅲ	A 磁 磁長 寸法 本	ABC 石 スペル 検 チェック 置	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
諸択 ▼ プロバティー	詳細		寸法 ▼		文字	ם-ועכ ויי
ファミリタイプ						×
名前を入力(ソ)						(h.
					No.	
検索パラメータ						Q
1(5×-9	値	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []		#	ロック	^
寸法		130r	nm」を編	朱 🚽		
梁幅(既定值) 40	00.0 =					
梁せい (既定値) 530	00.0 =					
STP_W (既定值) 13	0.0 = 梁幅 - かぶり	*2				
STP_H (既定値) 510	00.0 = 梁せい - かぶ	<u>9*2</u>				
かぶり(既定値) 50.						
主筋ピッチ(既定値) 88.	.6 = (STP_W - 30	mm * 2) / (最大主筋列数 -	1)			
土肋住(美鈥)(坑正値) 58.	.0 = size_lookup("tekkin", 土肋住, 1 mm, ルツ	ツアツフテーフル)			
腹筋径(実数)(既定値) 10.	.0 = if(腹筋アナロ	グ入力, size_lookup("tekkin'	,端部腹筋径_アナログ	、 入力, 1 mm, ルックフ	7 🗖	
ルックアップテーブル(既定値) 1.0) = 1 mm					
解析用位置合わせ						
中子STP本数(既定値) 3	= if(STP本数 -	2 < 0, 0, if(最大主筋列数 <	STP本数, 最大主筋列	数 - 2, STP本数 - 2)		
最大主筋列数(既定值) 15	= if(上端主筋?	本数 > 下端主筋本数, 上端目	L筋本数, 下端主筋本	数)		
構造解析						
中子腹筋表示(腰定値)	= or(and(基礎	梁. not(梁世い < 3000 mm))	and(not(基礎梁), no	t(梁世い < 600 mm)	00	
端部腹筋1段目表示(既定值)	= or(and(重成) = not(梁世い <	600 mm)	und(not()_0_x,,, no			~
<					>	
	A1 A4				and the second s	-
	Z+ Z			ルックトッノナ	- ノルを官理(9
ファミリタイプの管理方法について			ОК	キャンカル	適用(A)	
				115 010		

⑤ 配列STP(中間割付).rfa ファミリ編集画面で、以下の2か所の参照面の間隔を修正します。 寸法ロックを解除し、寸法を修正します。寸法入力後にロックをかけます。 寸法値は、⑫で入力した、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)を入力します。





UBooT.one

[修正]タブ → [修正]パネル → [移動]ツールを使い、左側の参照面の間隔が、 迎で入力した、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)になるように移動させます。 作成 挿入 表示 管理 アドイン B.共通 B.建築 B.構造 B.設備 B.仮設 B.Ruts 修正|複数選択 📿 🗸 修正 貼り付け 選択▼ プロパティ クリップボード ジオメトリ 修正 計測 作成 選択 Ш 寸法をロックします。 主筋は主筋は主筋は主筋と主筋と主筋と主筋と主筋と主筋と主筋と主筋と主筋と主筋とシッチ = 90 8

- ⑦ 配列STP(中間割付).rfa を s梁リスト断面図.rfa にロードします。
- 18 s梁リスト断面図.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 2・3・4段筋を選択し、右クリックして[編集]を選択します。



⑲ ⑥で修正した SectionList_RebarMark.rfa を 2・3・4段筋.rfa にロードします。

※⑥で寸法を修正せず、レイヤのみを修正した場合は、⑳~㉒は省き、次は手順㉒に進んでください。





 ② 2・3・4段筋.rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。 パラメータグループ[寸法]の4行目にある、[主筋ピッチ]の値を修正します。
 = (STP_W - 30mm * 2) / (最大主筋列数 - 1) と記載されているところの 30mm に
 ③で入力した、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)を入力します。

			↓ 塗り潰し 毎1 一 平行寸法 角度寸法	★ 査径 証長 + 注注	A ペレ 文字 スペル	(検索/ :
日本 プロバティー	J/m - 1/1 - 1	詳細	198-986 寸注	5.A	文字	ш <u>ж</u> ч.
-======================================						~
129917						^
3前を入力(<u>Y</u>):				\sim	P AI	36 2
検索パラマーク					_	
(Km) (37) (A						~
パラメータ	値		式		0	ック ^
鉄筋セット 🛛 🗸 🗸						
上端主筋本数 (既定值)	8	=	[20mm	した。毎年		
下端主筋本数 (既定值)	6	=	130000	己で褊朱		
主筋径 (既定値)	D32	=				
寸法					-	
梁幅 (既定値)	800.0	=				
STP_W (既定值)	700.0	= 梁幅 - かぶり* 2				
かぶり (腰定値)	50.0	-				
主筋ピッチ (既定値)	91.4	= (STP_W - 30 mm *	2) / (最大主筋列数 - 1)			
王肋佺(実致) (跣正値)	32.0	= size_lookup("tekki	n", 王筋径, 1 mm, ルックアッファー.	(ערי		
ルックアップテーブル (既定値)	1.0	= 1 mm				
解析用位置合わせ						
最大主筋列数 (既定值)	8	= if(上端主筋本数 >	下端主筋本数, 上端主筋本数, 下	端主筋本数)		_
その他		•		[
KEY (既定値)	80505.0	=				
	i	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+		-	>
						-
🔷 🐴 🗶 🗚 🚛 🗆	AI A+			I why	いつ テーブル ただ	578(G)

2 2·3·4段筋.rfa を s梁リスト断面図.rfa にロードします。

※⑥で寸法を修正せず、レイヤのみを修正した場合は、②は省き、次は手順@に進んでください。

BooT.one

② s梁リスト断面図.rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。
 パラメータグループの一番下の[その他]の1行目にある、[A]の値を修正します。
 ④で入力した、D16以上の鉄筋記号の半径(Y/2)を入力します。

第二 1	アイル 作成 挿入 表対	示 管理 アドイン	B.共通 B.建築	B.構造 B.設備	B.仮設 B.Ruts	修正	•		
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx		詳細 詳細 コンポーネント グルー	】 ■ プ ゴ 単 細 二 号 マスキング 領域	塗り潰し 平行寸法 領域		直径 弧長 寸法	A ひ 文字 スペ チェッ	C ↓ 100 000 000 000 000 000 000 000 000 0	יי אעב אער
r5194/7 × & 都核入力(公): * 被索バ53-5 * / (57-9 * * * <td></td> <td></td> <td>6T 194</td> <td></td> <td>37A -</td> <td></td> <td>~ ·</td> <td>-</td> <td>12/1</td>			6T 194		37A -		~ ·	-	12/1
259777									~
Statista Jn (y) (75x-9 (75x-9<!--</td--><td>029917</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u>`</u></td>	029917								<u>`</u>
	名前を入力(Y):						- <u>P</u> E	(×	
バラメータ 値 ロック ・ ・ ・	検索パラメータ							Q	
LAG就要示(領定値) = not(上4段就本数 <1) T2/K 新泰元(領定値) = not(T2/股 新本数 <1) T2/K 新泰元(領定値) = not(T2/股 新本数 <1) T3/K 新泰元(前定値) = not(T3/股 新本数 <1) = not(T3/L 新泰本数 <1) = not(T3/L 新泰本数 <1) = not(T3/L 新泰本数 <1) = not(T3/L 新泰本数 <1) = not(T4/L 新本数 <1) = not(T4/L 新本数 <1) = not(T4/L 新本数 <1) = not(T4/L 新本教 <1) = not(T4/L #L	パニメータ	1/15	1						
下2段結表示(開定値) = not(T2段結本数 <1)	ト4段筋表示 (既定値)		= not(上4段筋本数 <	1)				<u> 1997</u> (1	
丁3烷結長示(院定値) = not(T3段結本数 < 1)	下2段筋表示(既定值)		= not(下2段筋本数 <	🧊 30n	าm」を編	集			
下4段話表示(原定値) = not(T4段話本数 < 1)	下3段筋表示 (既定値)		= not(下3段筋本数 <	1)		-			
データ 捨て32/出価 A 30.0 = 30 mm A 30.0 = 第0 mm A 30.0 = 第世い・かぶり*2 STPU(院定価) 500.0 = 梁世い・かぶり*2 グロ 中止新位置(院定値) 435.0 = 梁世い/2-15 mm 景外端主局本教(院定値) 10 = if(上1段筋本教、下1段筋本教、上1段筋本教、下1段筋本教) □ 学校石・捨て32 = and(婆硬傑,[砕石・捨て32)表示)) 識別情報 <	下4段筋表示 (既定値)		= not(下4段筋本数 <	1)	/				
捨て32454 1000 = 10000 = 10000 = 1000 = 10000 = 1000 = 1000 = 1000 = 1000 = 1000 = 1000 = 10	データ								
20他 A 30.0 = 30 mm STPC1 (税定価) 800.0 = 縦目い・かぶり・2 STPC1 (税定価) 800.0 = 縦目い・かぶり・2 グロレ筋位置 (既定値) 435.0 = 梁目い・かぶり・2 ダム 435.0 = 梁目い・2 - 15 mm 曼外端玉市を救 (限定値) 10 = if(上1暇前本教、下1段前本教、上1段前本教、で1段前本教) □ 砕石・捨てコン 2 = and(基礎操, [砕石・捨てコン表示]) 識別情報 <	捨てコン出幅	100.0	=						
A 30.0 = 30 mm	その他								
SPセU (税業価) 6000 = 解せい-からり*2 ダイ サ止筋位置(税定値) 5000 = 保健・からり*2 ダイ 中止筋位置(税定値) 435.0 = 保せい/2 - 15 mm ダイ 雪介端上部本数(税定値) 10 = if(上1税筋本数 > 下1税筋本数,上1税筋本数,下1税筋本数) □ 雪介端上部本数(税定値) 10 = if(上1税筋本数 > 下1税筋本数,上1税筋本数, □ 酸別情報 ダイ 10 本1 FE タレ タイ ケンリタイクの管理方法について ダイロレー 通用(Δ)	A	30.0	= 30 mm						
SI/IP((法定価) 5000 = 栄補 - かんり * 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	STPせい (既定値)	800.0	= 梁せい - かぶり*2						
11/L前142 (成定値) 435.0 = 条VU/2 - 15 mm 2 長外端玉市茶食(限定値) 10 = ifL LI段前本数, 下1段前本数, 下1段前本数) □ 砕石 - 捨てコン 2 = and(基礎操, [砕石・捨てコン表示]) 識別情報 < 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	STP巾 (既定値)	500.0	= 梁幅 - かぶり*2						
#D1%#E1#10~W(E)とW) 10 = II(上口技術中数 / F11技術中数 / 口技術中数) #D7.HE(2)/ 2 = and(査破像 (砕石・捨(2)/表示)) 識別情報 く 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	中止防1至邑(筑に旭)	435.0	= 朱ピい / 2 - 15 mm		x ★ ₩0	````			
	取75端土初平数(以に10)		= II(上1校肋平数 / 1	「政励学致、上収加 に、「注意」	刃华载(, I' IFX加华载))			
akobilitiek ・ ・ ・ く ・ ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * * ・ ・ / * ・ ・ ・ / * ・ ・ ・ / * ・ ・ ・	# 914# #P		- and(金融来, [
<	副以力リ1月1年以	1	1						
<								×	
・ ・ ・	<							>	
rsy タイブの管理方法について 道用(A)	🧷 🛅 🏠 🕂 🕴	F 21 21				ルック	アップ テーブルを	*管理(G)	
レスシンクロンジョンをようになど。 ひん キャンセル 通用(A)	コーシリカイゴの範囲大法について								
	フィックコンの管理方法について	•			ОК	キャンセル	, 適	用(<u>A</u>)	

29 s梁リスト断面図.rfa を s梁リスト.rfa にロードします。

② s梁リスト.rfa をプロジェクトにロードします。

- 鉄筋記号の変更~片持ち梁リストの場合~
 - ① 片持ち梁リストを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリを編集]ツールをクリックし、s片持ち梁リストの ファミリ編集画面を開きます。

② 梁で変更を行った、s梁リスト断面図.rfaをs片持ち梁リスト.rfaにロードします。(梁の手順29)

③ s片持ち梁リスト.rfa をプロジェクトにロードします。

BooT.one

- 鉄筋記号の変更~柱リストの場合~
 - 1 柱リストを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリを編集]ツールをクリックし、s柱リストのファミリ編集画面を 開きます。



② s柱リスト.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → s柱リスト断面図 を選択し、 右クリックして[編集]を選択します。



③ s柱リスト断面図.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 柱筋(中子)配列 を 選択し、右クリックして[編集]を選択します。



BooT.one 鉄筋記号の編集 ④ 柱筋(中子)配列.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → SectionList_RebarMark を選択し、右クリックして[編集]を選択します。 プロジェクト ブラウザ - 柱筋(中子)配… 🗙 📄 柱リスト 🗈 参照レベル ⊜_[0] ビュー (すべて) プロジェクトブラウザから [SectionList_RebarMark]を右クリック ┆┉詳細道日 SectionList_RebarMark Đ 新しいタイプ(N) 削除(D) 📟 Revit リンク 名前変更(R). 編集(E) 保存(S)... 7 再ロード(L)... [編集]をクリック 検索(.)... 選択を展開(E) すべてを展開(X) すべてを折りたたむ(L)

⑤ SectionList_RebarMark.rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールを クリックします。

ファイル	作成	挿入	表示	管理	アドイン	B.共通	B.建築	B.構造	B.設備	B.仮設	B.Ruts	修正	E	• •			
\bigcirc	80		\sum		A]		ß		**	\triangle	\bigwedge	\bigcirc	Ċ	Α	ABC	* **	+
修正	++		線	詳細 コンポーネント	詳細 グループ	記号	マスキング 領域	塗り潰し 領域	平行寸法	角度寸法	半径	直径	弧長 寸法	文字	スペル チェック	検索/ 置換	-םאעב
選択 ▼	プロバ	71			詳細	8				42	± -				文字	к	コントロー

⑥ [ファミリタイプ]ダイアログで鉄筋記号を変更します。

ファミリ タイプ			×
名前を入力(Y): 鉄筋径		× 🎦	AI ×
検索パラメータ			
パラメータ	値	त्रं	<u> しック へ</u>
417			
十字線 (既定値)		= or(主筋径 = 35 mm 主筋径 = 38 mm)	
斜め下線 (既定値)		= or(主筋径 = 13 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径 = 41 mm)	
斜め上線 (既定値)		= or(主筋径 = 13 mm, 主筋径 = 16 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径 = 41 mm)	
外形線 (既定値)		= or(主筋径 = 16 mm, 主筋径 = 22 mm, 主筋径 = 25 mm, 主筋径 = 29 mm, 主筋径	
外形塗り潰し(既定値)	~	= or(主筋径 = 10 mm, 主筋径 = 19 mm)	
中黒丸 (既定値)		= 主筋径 = 25 mm	
中丸 (既定値)		= or(主筋径 = 32 mm, 主筋径 = 38 mm, 主筋径 = 41 mm)	
寸法			
主筋径 (既定値)	10.0	=	
図面Dサイズ(既定値)	60.0	=D*倍率	
中丸R (既定値)	15.0	= 図面Dサイズ / 4	
D2 (既定值)	30.0	= 図面Dサイズ / 2	
D(既定值)	60.0	= if(主筋径 < 14 mm <mark>_60 mm</mark> _80 mm)	
その他			
倍玄 く	1 00000	L	> ×
🥒 🛍 🎦 tE 📲	2↓ 2 ↑	ルックアップ テーフ	「ルを管理(<u>G</u>)
<u>ファミリ タイプの管理方法について</u>		OK キャンセル	適用(<u>A</u>)



 ⑩ s柱リスト断面図.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 芯鉄筋 を選択し、 右クリックして[編集]を選択します。



- ⑪ ⑥で修正した SectionList_RebarMark.rfa を 芯鉄筋.rfa にロードします。
- ② 芯鉄筋.rfa ファミリ編集画面で、プロジェクトブラウザから、ファミリ → 詳細項目 → 柱筋配列(芯鉄筋)を選択し、 右クリックして[編集]を選択します。





⑥で修正した SectionList_RebarMark.rfa を 柱筋配列(芯鉄筋).rfa にロードします。

※⑥で寸法を修正せず、レイヤのみを修正した場合は、⑭は省き、次は手順⑮に進んでください。

④ 柱筋配列(芯鉄筋).rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。ファミリタイプダイアログを開き、パラメータグループ[寸法]の5行目にある、[ずれ]の値を修正します。
 = if (主筋径 < 14mm, W/2 mm, Z/2 mm)と入力してください。

	。 詳細 コンポーネント		スキング 塗り潰し 3 領域 領域	¥ 行寸法:	<u> 角度</u> 寸法 す		直径 弧星		スペル チェック 文字	▲ 検索/ 置換	2
-5リタイプ										>	<
	\backslash										
前を入力(Y): X								~ 🎦	AI	*	
金委パラメーク										0	
	\rightarrow								_	~	
パラメータ	企			코	;					ック ^	
す法											
A (既定値)	120.0	= 芯鉄筋位置	- かぶり - ずれ								
(既定値)	70.0	≤if(寄筋, 70 n	nm, A / 2)								
1(既定値)	400.0	= STP (7 / 2									
TD由 (800.0	- W25060,2011 *	2								
ずれ (既定値)	40.0	= if(鉄筋径 <	14 mm, 30 mm, 40	nm)							
匀寺ビッナ (既定値)	160.0	= 内寸値タミー	/ (内部配列複与調	豎 - 1)							
内寸 (既定値)	480.0	= W - 芯鉄筋1	立置*2								
内寸値ダミ− (既定値)	480.0	= if(内寸 < 0 i	mm, 1 mm, 内寸)								
芯鉄筋位置(既定値)	210.0	=									
失筋径 (既定値)	29.0	= size_lookup	("tekkin", 主筋 太谷	£, 100 mm	、ルックアッ	フテーフル)				
佚筋細径 (既定値)	29.0	=									
その他											
段目表示 (既定値)		=[1段太筋本	数] > 3								
本 (既定値)		= or([1段太筋	本数] = 5, [1段太筋	本数] = 3))						
內側配列複写調整表示 (既知	Ellía I√	≔[1段太筋本	敗] > 5							, ×	
🥒 🛅 🎦 🕂	∎E ⊉↓ ≙t						ルッ	クアップ テ	ーブルを管	辞理(G)	

⑮ 柱筋配列(芯鉄筋).rfa を 芯鉄筋.rfa にロードします。

※⑥で寸法を修正せず、レイヤのみを修正した場合は、⑩は省き、次は手順⑪に進んでください。



⑥ 芯鉄筋.rfa ファミリ編集画面で、[作成]タブ → [プロパティ]パネル → [ファミリタイプ]ツールをクリックします。
 ファミリタイプダイアログを開き、パラメータグループ[寸法]の1行目にある、[ずれ]の値を修正します。
 = if (主筋径 < 14mm, W/2 mm, Z/2 mm) と入力してください。

イル 作成 挿入 表示	管理 アドイ	ン B.共通	B.建築	B.構造	B.設備	B.仮設	B.Ruts	修正	•			
	詳細 記 ジポーネント グ		+ 『『 マスキング 領域	ブ 塗り潰し 領域	平行寸法	角度寸法	人 半径 1	直径 弧長	人 文字	スペル チェック	▲ 検索/ 置換	
< ▼ 70/(デイ		評細				4	法 🔻			文字	ы	
ミリタイプ											>	ĸ
前を入力(Y): X	\sim								~ 🎦	AI	×	
金表パーマーク	\sim											
X TRA 1979 - 2		· · · · ·									~	0
パラメータ	値	Χ.			3	.					ック ヘ	
t法	•	1										
「れ (既定値)	40.0	= if(鉄筋征	≩ < 14 mm	n, 30 mm, 4	0 mm)							
万円心妖筋内寸 (既足個)	400.0	- קר - קר	用心水加加	二月日 乙								
(方向芯鉄筋内寸 (既定値)	200.0	= せい - X;	方向芯鉄筋	5距離*2								
方向芯鉄筋ビッチ(既定値)	400.0	=Y方向芯	鉄筋内寸	/(XY方向)	5鉄筋 - 1)							
方向芯鉄筋ビッチ(既定値)	200.0	=X方向芯	鉄筋内寸	/(XY方向)	5鉄筋 - 1)							
'STP巾 (既定値)	800.0	= 巾 - かぶ	1) * 2									
方向中子ピッチ (既定値)	400.0	=Y方向芯	鉄筋内寸	/ (Y方向中	子配列間隔	ā)						
方向中子配列複写ダミー (既定	2	= if(X方向	中子本数ダ	9ミー < 6, 2,	if(X方向本	数 - 2 < X	方向中子本	\$数, X方向	本数 - 6, >	(
方向中子配列間隔 (既定値)	1	= if(Y方向	本数 < 6,2	2, Y方向本	数 - 5)							
方向2本目ビッチ(既定値)	70.0	= if(Y方向	寄筋, 70 m	nm, (Y方向	芯鉄筋距離	ŧ - かぶり -	ずれ) / 2)					
STP巾 (既定値)	600.0	= せい - か	ぶり*2									
方向中子ピッチ (既定値)	100.0	=X方向芯	鉄筋内寸/	/ (X方向中	子配列間隔	ā)						
(方向中子配列複写ダミー (既定	2	= if(Y方向	中子本数ら	92- < 6, 2,	if(Y方向本	数 - 2 < Y	方向中子本	\$数, Y方向;	本数 - 6, \	′ 🗆		
方向中子配列間隔 (既定値)	2	= if(X方向	本数 < 6, 2	2, X方向本	数 - 5)							
(方向2本目ビッチ(既定値)	80.0	= if(X方向	寄筋, 70 m	nm, (X方向	芯鉄筋距離	圭 - かぶり -	すれ) / 2)				~	
c											>	
/ 🐴 🍋 🖅 📭	<u> </u>							11.80	17217	ゴル大祭	578(G)	
	ZV Z1					_	_	105.		770'ZE	- ±(Q)	1
- シリーカノーダの空気用 ナジナ (こうりつて												6

- ① 芯鉄筋.rfa を s柱リスト断面図.rfa にロードします。
- 18 s柱リスト断面図.rfa を s柱リスト.rfa にロードします。
- ② s柱リスト.rfa をプロジェクトにロードします。

※注意事項※

梁・片持ち梁リストにネストされている SectionList_RebarMark.rfa と、柱リストにネストされている SectionList_RebarMark.rfa は、ファミリのデータ名称は同じですが、初期設定の内容が異なります。 編集する際は、データを混同しないよう注意が必要です。

(初期設定の SectionList_RebarMark.rfa は、梁・片持ち梁と、柱とで、記号の大きさが異なります。)